

火星のカノン (2001)

THE MARS CANON

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2002/09/28

公開情報 アルゴ・ピクチャーズ

【キャッチコピー】

この星の恋愛は、いつも痛々しくて、とても幸福。

【解説】

前作「冬の河童」でロッテルダム国際映画祭・新鋭監督賞を受賞した風間志織監督の7年振りの長編第3作目。年上の男性と不倫をしているごく普通の29歳の女性の切ない恋愛模様をリアルに描く。また、「冬の河童」に続いて出演の久野真紀子が、決して実らない恋愛の束の間の幸福と裏腹の残酷さの間で揺れ動く女心を好演。

ディスカウント・チケット屋で働く絹子。29歳で独身だが、不倫をしていた。その相手、公平とは火曜だけしか会えない。ある火曜日、絹子はその日もいつものように公平を待っていた。そこで偶然にも以前バイトが一緒だった聖と出会った。聖の彼氏で自称“路上の言葉職人”真鍋も連れて食事をしようと思い物に行くが、その時、娘と一緒にいる公平を目にしてしまい落ち込む絹子だった。ある日、真鍋に追い出された聖は絹子の部屋に転がり込む。その夜、公平を待ち続けて風邪をひいてしまった絹子を聖は一生懸命に看病するのだったが…。

【クレジット】

監督	風間志織	
プロデューサー	伊藤直克	
	岡田裕	
	岡本東郎	
	斎藤緑	
脚本	小川智子	
	及川章太郎	
撮影	石井勲	
美術	松本知恵	
編集	島村泰司	
音楽	阿部正也	
照明	大坂章夫	
録音	鈴木昭彦	
助監督	島田明生	
出演	久野真紀子	絹子
	小日向文世	公平
	中村麻美	聖
	KEE	Kee 真鍋
	はやさかえり	出口ありみ (公平の娘)

篠崎はるく
和久田理人

小松文代
焼き鳥屋のおやじ